

北広島のまちづくり

令和7年度の予算が市議会第1回定例会で可決されました。予算の概要と主な事業をお知らせします。

問合せ 企画課 (☎372-3311・内線3603)

令和7年度予算が決定

昨年は、北海道ポールパークFビレッジに約419万人が訪れ、北広島市ににぎわいと活気をもたらしました。誘致の表明以来、一貫して人口の社会増が続くなど、ポールパーク構想がもたらす新たな価値や効果がさまざまな分野で表れてきています。このタイミングを逃すことなく、目指す都市像である「希望都市」「交流都市」「成長都市」の実現に向けて、まちづくりを進めていきます。

令和7年度は6月に市長選挙が行われることから、市政運営の基本となる義務的および経常的な経費を主とした骨格予算としました。一方で、行政の継続性や緊急的な課題への対応などを行う必要があることから、計画的に実施している継続事業や物価高騰対策などの予算を措置しました。

福祉・健康については、母子保健や児童福祉などの連携・協働による包括的な支援体制を強化するため、全ての妊産婦や子育て世帯、子どもに対し一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」を設置するほか、65歳以上の方に対する带状疱疹ワク

チンの定期接種に係る費用の一部助成を行います。

教育については、西部小学校を活用した義務教育学校の設置に向け、基本構想と基本計画を策定するほか、学校ICT環境整備では、学びの質の向上と校務の効率化を図るため、令和2年度に整備した学習者用コンピュータやネットワーク機器のほか、小学校の大型提示装置の更新を行います。

安全・生活については、石狩管内の消防力を強化するため、10月からの札幌圏消防通信指令の全面共同運用に向けた準備を進めるほか、道路維持作業車の更新や、デジタルを活用した、バス路線や通学路などの除雪体制の充実を図ります。

都市基盤については、輪厚三島線や大曲工場1号支線などの道路整備や、泉2号陸橋などの補修工事や天使歩道橋などの補修設計など橋梁長寿命化の取り組みを進めるほか、JR北広島駅西口周辺エリア活性化のため、居住交流施設などの整備を進めていきます。

ポールパーク構想の推進については、市内各地区との往来や、周辺住

民や北海道ポールパークFビレッジの来訪者などの利便性の向上を図るとともに、JR北広島駅周辺と連担性を持った利便性の高いまちづくりに向け、引き続き新駅と周辺施設の整備を進めていきます。

物価高騰対策については、市立保育所、私立幼児教育・保育施設、市立小・中学校の給食費の食材高騰分について支援などを行うほか、市内消費を喚起するとともに、Fビレッジの経済効果を市内事業者者に波及させるため、プレミアム付きのキャッシュレス決済キャンペーンなどを行います。

総合計画の中間見直し

令和7年度は、市民の皆さんと共に作成した第6次総合計画の折り返しの年であり、これまでの取り組みの検証を行うとともに、時代の潮流や社会経済情勢を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

今後5年間の計画推進に向け「自然と創造の調和した豊かな都市」をまちづくりのテーマに、誰もが希望を持ち、自分らしく生き生きと暮らすことができる、安全で安心なまちづくりに全力で取り組んでまいります。

北広島市長 上野 正三

決定しました

令和7年度予算

令和7年度の全会計の予算総額は、537億1,456万円で前年度と比較し10.5%、50億9,188万円増加しました。このうち一般会計予算は341億2,453万円で前年度と比較して19.4%、55億5,232万円増加しました。

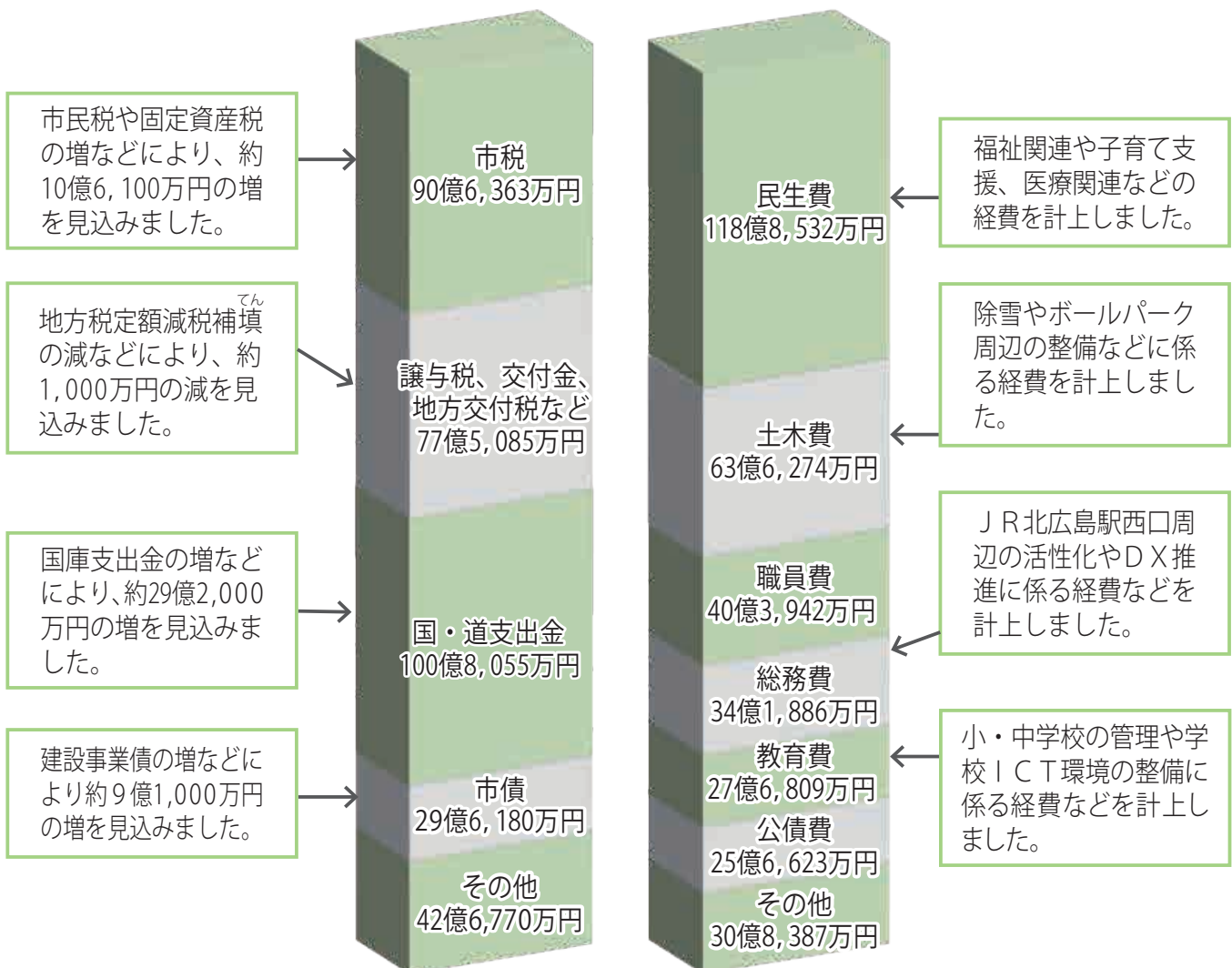
会計名	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減	増減率 (%)	
一般会計	341億2,453万円	285億7,221万円	55億5,232万円	19.4	
特別会計	国民健康保険	62億5,589万円	65億6,047万円	-3億0,458万円	-4.6
	霊園事業	3,723万円	4,642万円	-919万円	-19.8
	介護保険	54億2,835万円	52億5,882万円	1億6,953万円	3.2
	後期高齢者医療	12億5,322万円	11億8,984万円	6,338万円	5.3
	小計	129億7,469万円	130億5,555万円	-8,086万円	-0.6
企業会計	水道事業会計	23億7,264万円	23億5,398万円	1,866万円	0.8
	下水道事業会計	42億4,270万円	46億4,094万円	-3億9,824万円	-8.6
	小計	66億1,534万円	69億9,492万円	-3億7,958万円	-5.4
合計	537億1,456万円	486億2,268万円	50億9,188万円	10.5	



令和7年度 一般会計の概要

歳入 341億2,453万円

歳出 341億2,453万円



(1万円未満は四捨五入で表示)

今年度の主な事業



継続

J R北広島駅西口周辺エリアの活性化

予算額 9億9,175万円

J R北広島駅西口周辺エリアにある未利用・低利用の市有地を活用します。

新規

子ども家庭センターの運営

予算額 2,807万円

全ての妊産婦や子育て世帯、子どもに対し一体的に相談支援を行う子ども家庭センターを設置します。

継続

ボールパーク周辺の整備

予算額 48億547万円

J R新駅のほか自由道路や広場を整備し、アクセス道路となる市道西裏線の整備などを行います。

継続

札幌圏消防通信指令の共同運用

予算額 4億272万円

石狩管内の消防力強化のため、10月から札幌圏消防通信指令の全面共同運用を行っています。

新規

西部地区の義務教育学校の整備

予算額 1,480万円

西部小学校を活用した義務教育学校の設置に向け、基本構想と基本計画を策定します。

拡大

学校ICT環境の整備

予算額 3億8,779万円

令和2年度に小・中学校などに整備した、コンピューター3,021台や大型提示装置などを更新します。

新規

ふれあい学習センターの改修

予算額 815万円

ふれあい学習センターの中規模改修に向けた設計を行います。

継続

橋梁長寿命化の推進

予算額 4億3,097万円

泉2号陸橋、望橋の補修工事や、天使歩道橋などの補修設計を行います。

継続

プレミアム付キャッシュレス事業

予算額 4,000万円

市内の消費循環の活性化を図るため、キャッシュレス決済キャンペーンで消費喚起を行います。